

建設業の未来を見据えた新組織体制へ 北海道・帯広市での創業 107 年を機に「技革推進部」を新設



建設業の常識を打ち破る、技術と革新のクロスオーバー～

各部署がもつスキル・ノウハウを一か所に集約し会社で横断する体制づくり

萩原建設工業株式会社（本社：北海道帯広市、代表：萩原一利）は、2025 年 6 月 1 日付で新部署「技革推進部（ぎかくすいしんぶ）」を設立いたします。「技術」と「革新」をかけ合わせたこの部署は、土木部・建築部、現場・会社など様々な枠組みを超えて、知識や技術を全社で横断的に共有・展開することを目的に発足。最新技術の導入を加速させ、類似課題に重複する対策・作業を減らし、現場に最適化されたソリューションの創出を目指します。

部署設立の背景～ 縦割りを超えて、現場の工夫を会社の力に

建設業界全体が「効率化」や「働き方改革」の必要性に直面するなか、当社では以前より「業務改革推進グループ」を 2022 年 6 月に設置し、業務改善に取り組んでまいりました。その過程で見えてきたのは、現場ごとの創意工夫や技術的工夫が他の部門でも活用できる可能性があること、現場で行うべきこと・他に任せられることを明確にすみ分けることで、生産性の飛躍的な向上と、より高品質な施工管理が可能と確信しました。

今回新たに設立する「技革推進部」では、土木・建築の垣根を超えたメンバー構成とし、各現場の課題に対してスピーディーかつ的確に応える体制を整えました。これにより、相談者は相談先をひとつに絞れることで、迷いなく問い合わせることができ、ノウハウ・情報も一元管理することが可能になります。加えて、現場の負担軽減から、現場は本来の役割である施工管理に専念できる環境となり、より高度な管理体制の構築が可能になります。

また、最新技術の導入と活用を促進し、現場と技革推進部がそれぞれの専門性を発揮することで、高品質な施工と安全性の向上にもつなげ、建設業としての競争力をさらに強化してまいります。

部署の概要～「技革推進部」が担う役割とは

「技革推進部」は、建設本部下にて土木部・建築部と並列に設置され、「建設ソリューション課」と「デジタル推進課」という2チーム体制で運営します。

- ・建設ソリューション課：現場の支援を中心に全社的な業務の効率化を促進します。
- ・デジタル推進課：全社的な情報システムを管理し現場のデジタル化を推進します。

現場からの声を反映する柔軟な体制と技術サポートにより、より効果的なツール活用と業務効率化を実現。さらにこの取り組みは建設業界全体の課題である、担い手不足や技術継承といった業界課題にもアプローチできる可能性を秘めています。

今後のビジョン～枠を超え、未来をともに創る

当面は、現場単位での支援が中心となりますが、今後は社内全体の体制改善へと繋げると共に多様な働き方にも対応、建設業の3Kイメージの払拭と若手採用の強化など、働きやすい環境づくりにも寄与します。

また、当社で開発・導入したツールや制度を水平展開できる仕組みを整えることも視野に入れ、自社内にとどまらず、業界全体の価値向上に貢献する組織を目指します。

「技革推進部」は、変化の激しい社会と建設業界の中で、持続的な成長と競争力の確保を実現するための戦略部署です。DX 推進や組織の再構築、人材育成を通じて、「建設業」の枠にとらわれない新たな仕組みを構築し、未来のまちづくりを支える企業としての価値を高めてまいります。

担当者コメント

萩原建設工業株式会社 建設ソリューション課長・細野 純宜（ほその よしのぶ） コメント

技革推進部 建設ソリューション課では、現場の業務負担を軽減し、現場が本来注力すべき「品質・原価・工程・安全」などの管理業務に集中できる環境を整え、全社的な生産性向上と業務効率化を図るサポートを行っています。

そのためにも、これから現場のリアルな声に耳を傾け、部門を超えて連携し、共に最適な解決策を見出していきたいと考えてまいります。

萩原建設工業株式会社 デジタル推進課長・高山 正宏（たかやま まさひろ）コメント

建設業は今、大きな変革の時期を迎えており、デジタルの力を抜きに語れない時代になっています。

当社でもこれまで DX を中心とした業務改革を進め、成果を得てきましたが、まだ解決すべき課題は多く残されています。加速度的に進化している AI など先進技術をいち早く取り入れ、現場に活かし、企業としての発展につなげていくことを、技革推進部の使命と考え、結果を残せるよう努めていきます。

【会社概要】

社名：萩原建設工業株式会社

本社所在地：〒080-0807 北海道帯広市東 7 条南 8 丁目 2 番地

代表取締役：萩原 一利

事業内容：総合建設業

設立：1918（大正 7）年 5 月

HP：<https://www.hagiwara-inc.co.jp/>